



JASDAQ

2022年3月31日

各位

会社名 株式会社サカイホールディングス  
代表者名 代表取締役会長 山口 伸 淑  
(JASDAQ:コード番号9446)  
問合せ先 IR 戦略部  
電話番号 052(262)4730

### 連結子会社における売掛金過大計上に関する再発防止策の策定に関するお知らせ

当社は、2022年3月25日に公表いたしました「独立調査委員会の調査報告書の受領に関するお知らせ」のとおり、独立調査委員会から連結子会社における売掛金の過大計上に関する調査報告書を受領いたしました。その後、本報告書にて指摘された原因の分析及び再発防止策の提言を真摯に受け止め、再発防止策を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

株主、投資家の皆さまをはじめとする関係者の皆さまには多大なるご心配とご迷惑をおかけいたしましたことを改めて深くお詫び申し上げます。当社は、今回の件を厳粛に受け止めるとともに、今後、速やかに再発防止策を実行し、信頼回復に全力で取り組んでまいります。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

#### 1. 本件の主な発生原因

##### (1) ガバナンスの機能不全

- ・当該連結子会社の監査役監査及び内部監査が十分に実施されていない。
- ・社外取締役の意見が十分に活用されておらず、グループ監査、内部統制監査との連携が不十分で、グループ全体のガバナンス体制や内部統制の構築状況が形骸化している。
- ・管理部門に十分な人材がおらず、検証体制の不備や内部統制形骸化の一因になったと考えられる。

##### (2) コンプライアンス意識の欠如

- ・経営陣をはじめグループ全体で、規範意識やコンプライアンス体制の構築等に関する意識が欠如している。

##### (3) 経理体制の不備

- ・不正の手口は、当該連結子会社の経理実務の責任者が代理店手数料明細のデータを改ざんし、架空の売上、売掛金を計上したもので、全て単独で行われており、ダブルチェックできる検証体制がとられていなかった。

## 2. 再発防止策の概要

社外取締役を中心とする「集中再生プロジェクトチーム」を組成し、スピード感を持って再発防止策の実行に取り組み、より健全で透明性の高い企業グループとして持続的な成長を目指してまいります。

### (1) 組織体制の課題

#### ① 当社取締役会による経営の監督機能の確保、グループ監査の充実

- ・ 当社取締役会による独立かつ客観的な経営の監督機能を確保するため、取締役会に関わる規程類・体制の点検、整備を実施し、不適切な会計処理の早期発見や予防措置をはじめ経営上のリスク管理の実効性を高める。
- ・ 当該子会社の監査役を2名体制とするとともに、当社監査役会は、会計監査人からの問題提起に適切に対応するとともに、当社内部監査部門とも連携し、グループ監査を充実させる。

#### ② 内部統制の再構築と強化

- ・ 内部監査部門への十分な権限付与と人材の確保を行い、同部門に関わる規程・体制の点検、整備および評価を実施し、第2線として求められる内部統制を機能させ、不適切な会計処理の早期発見や予防措置の実効性を高める。

### (2) コンプライアンス意識の欠如

#### ① コンプライアンス研修の継続的な実施と代表取締役によるメッセージ発信

- ・ グループ全ての役員・従業員に対し、階層別、業務別のコンプライアンス研修を定期的・継続的に実施するとともに、当社代表取締役がコンプライアンス重視のメッセージを定期的に発信していくことで、コンプライアンス重視の意識を醸成する。

#### ② 内部通報制度の周知徹底

- ・ グループ全ての役員・従業員に、継続的に周知し、誰もが躊躇なく利用できる制度にしていくことで、不祥事等の未然防止、早期発見に繋げる。

### (3) 経理体制の不備

- ・ 経理部門への十分な人材の確保と社員教育を行うとともに、従業員全体に対しても適正な会計処理の重要性を徹底することで、正確な会計処理ができる体制を構築する。
- ・ けん制が欠如していた売掛金計上の業務フローの見直しを行うとともに、担当者が作成した売掛金元帳を承認者がダブルチェックする運用に変更する。
- ・ データ集計と経理処理にかかる一連のプロセスを明確にし、事後的に内部監査部門等によって監視・監督ができる体制を整える。

以上